

1 単元名 物の様子や生じる音を動きに変え、表現しよう（表現運動）
オリジナル「かたかみ春たんぼ」をつくろう！

2 単元の目標

- 動きづくりに進んで取り組み、仲間と仲良く練習し踊ることができる。また、場の安全に気を配ることができる。 (関心・意欲・態度)
- 題材から出る音がどのような動きで表現できるかを考え、練習や発表の仕方を工夫することができる。 (思考・判断)
- いろんな題材から特徴をとらえ、様々な動きを組み合わせたたり繰り返したりして踊ることができる。 (技能)

評価規準

運動や健康・安全への関心・意欲・態度	・表現することを楽しみ、意欲的に運動に取り組んでいる。 ・安全に気を配りながら運動している。
運動や健康・安全への思考・判断	・個人の課題を見つけ判断し、解決の仕方を工夫できる。 ・グループの課題を見つけ判断し、工夫して練習できる。
運動の技能	・音の特徴を捉え、オリジナルの振り付けを表現することができる。

3 単元について

表現運動は、身近な生活などから題材を選んで表したいイメージや思いを表現することを楽しむことが目的となる。中学年の「リズムダンス」では、軽快なロックやサンバなどのリズムに乗って仲間とかかわりあい楽しく踊ることを目的としている。この目的から、表現運動は自由に動き、工夫して楽しむ創造的な学習で進めていくことができる。

そこで、本単元では、身近な物から音を捉え、それを動きに変え、仲間と協力して表現し、踊る楽しさや喜びを味わうことができるようにしていきたい。

4 児童について

休み時間になると男女仲良く体を動かし遊んでいる。また、他学年の児童とも楽しく遊ぶ姿が多く見られる。児童に、体育のアンケートを行ったところ、次のような結果となった。

	とても好き 好き (人)	好き (人)	普通 (人)	あまり好きではない (人)	好きではない (人)
体育の授業は好きですか。	13	3	1	1	0
ダンス（踊ること）は好きですか。	14	3	1	0	0
球技は好きですか。	13	4	1	0	0
陸上競技は好きですか。	8	7	3	0	0

アンケートの結果から、体育の授業が「とても好き・好き」と回答した児童は89%におよび、ほとんどの児童において体育の授業が好きで意欲的に取り組んでいることが分かった。ダンスに関しては「とても好き・好き」と回答した児童が95%となり、高い数値をしめした。さらには「とても好き」の項目だけを見ると、球技よりもダンスが好きであると回答した児童が多いこと

が分かり、ダンスへの興味が非常に高いものと推察された。休み時間等においても、音楽を流すと自然に踊り始める児童やその動きをまねして踊る児童などが多数見られ、踊ることに対する抵抗感がないことが伺える。

そこで、本単元では、地元で親しまれている曲「かたかみ春たんぼ」を使い、グループで踊りを創作することに取り組んでいくこととする。この活動を通して、そのことで今以上にダンスが楽しいと感じられるようにしていきたい。また、仲間で考え合い、話し合いながら創作していくことで達成感も得られるようにしていきたい。

5 指導について

本単元では、「かたかみ春たんぼ」を基本の踊りとし、曲の一部分をオリジナルのダンスに変えて表現していくこととする。物の様子や生じる音を動きに変えることを学習の中心課題としたという考えから、踊り慣れている「かたかみ春たんぼ」を本単元のダンスの曲として選ぶこととした。

第一次では、「かたかみ春たんぼ」を確実に踊れるように丁寧に指導していきたい。また、どの部分から自分たちがオリジナルの動きづくりをするかも把握させたい。

第二次では、身近な生活の中にある物として（①洗濯物②ポップコーン③新聞④花火）を題材として選ぶ。そして、その物の様子や生じる音を動きに変え、表現することをメインに取り組んでいきたい。一人ひとりが行う細かな動きを考えたり、グループ全体の動きを考えたりして、様々な創造を引き出せるようにしていきたい。

本時では、生活の中にある物として「新聞」を題材として取り上げる。新聞を開閉するときの動きやそのときに生じる音、くしゃくしゃにするときに生じる音、さらには破ったときに生じる音などいろいろな音があり、それらを見つけられるように促していきたい。最終的には、見つめられた音をいかに動きに変えていくかが問題になると思われるが、児童のオリジナル性をできるだけ尊重し、イメージと多少違っても気にせず自信をもって踊らせるように声かけしていきたい。

6 単元の流れと評価の計画〈全5時間 本時4/5〉

時間	学 習 活 動	評価の観点			評価の規準（評価の方法）
		関 意 態	思 判	技 能	
第一 次	1 ○「かたかみ春たんぼ」を踊ろう ・慣れ親しんだ曲を踊り、振付を確実に覚える。	○		○	・踊りを楽しみ、意欲的に取り組むことができる。 ・踊りを確実に理解し、正確に踊ることができる。 （観察）
第二 次	2 ～ 5 ○物から生じる音や動きを踊りに変え、表現し、発表しよう ・身近な物から生じる音や動きを踊りに変え、オリジナルのダンスをつくっていく。	○	○	○	・みんなで協力して意欲的に動きづくりに取り組むことができる。 ・物の様子や生じる音をどのような動きに変えることができるかを個人やグループで考えることができる。 ・見つけて考えた動きを踊ることができ、楽しく表現することができる。 （観察・ワークシート）

時間	学 習 活 動	評価の観点			評価の規準 (評価の方法)
		関 意 態	思 判	技 能	
	①洗濯物を題材としてオリジナルダンスをつくろう	○		○	
	②ポップコーンを題材としてオリジナルダンスをつくろう		○	○	
	③新聞を題材としてオリジナルダンスをつくろう (本時)		○	○	
	④花火を題材としてオリジナルダンスをつくろう	○	○	○	

7 本時の学習

(1) 目標

- 個人の動きを考えたり，仲間と協力して動きを考えたりすることができる。 (思考・判断)
- 自分たちで考えたオリジナルの動きを表現することができる。 (技能)

(2) 準備物 CD, 新聞, ワークシート

(3) 学習の展開 (◎…本時のねらいを達成するための授業の山場)

	学習活動と予想される児童の反応	教師の支援(・)と評価(※) ユニバーサルデザインの視点 (下線)
つ か む	<ul style="list-style-type: none"> ○前時で良かったところを振り返る。 ○本日の学習のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>新聞を使ってオリジナル「かたかみ春たんぼ」をつくろう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○新聞で遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習で気になった動きなどを振り返り，本時のイメージを膨らませるようにする。 ・<u>本時の流れを提示して学習に見通しをもたせるようにする。</u> ・新聞から生まれる動きのイメージが沸くように自由に遊ばせる。
追 究 す る	<ul style="list-style-type: none"> ◎「新聞」から生じる音や形状の変化を動きに変え，オリジナルの踊りをグループごとに考える。 ・新聞を開いたり閉じたりする動き ・くしゃくしゃにするときに出る音 ・新聞が破れるときに出る音 <ul style="list-style-type: none"> ○グループごとにオリジナルのダンスを発表す 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>考えられる動きを一つ例にあげて説明し，児童の動きづくりにつなげられるように促していきたい。</u> ・新聞を自由に取れるように準備しておき，いろいろな動きを考えたり，確認したりできるようにしておく。 ・イメージが沸きやすいように，<u>CDを常に流しておく。</u> ※物の様子や生じる音を動きに変え，オリジナルの動きづくりを意欲的に考えていたか。 (観察) ・自分たちの踊りと他のグループが考え

追 究 す る	<p>る。</p> <p>○ワークシートに好きな動きを書き，発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんな動きがあったなんて驚きだ。 ・みんなでの動きが合っていてカッコいいね。 ・破れるときの音は，そのように踊ればよかったのか。 	<p>た踊りではどこが違うかを注目して見させる。</p> <p>※新聞から生じる音や形状の変化をグループで協力して表現できたか。</p> <p>(観察・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気に入ったところや取り入れたい動きを細かく書くように促す。また，言葉で書くことができない動きに関しては，絵で描くように促す。
つ な げ る	<p>○次時の予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は，花火を題材として動きを考えることを伝える。

8 授業の観点

身近な生活の中にある物から動きを表現しようとするために，新聞を取り入れたことは効果的であったか。

9 反省

10 ご高評